

質疑応答書

質疑のありました項目への回答の他、見積用設計図書の内容に変更がありますので次のとおりお知らせします。

工事名		上富良野中学校特別教室棟改築及び老朽改修工事(機械設備工事)	
		質問	回答
1	設計図 M-9 M-42-1	M-9図で増築部内を横断している管理棟系統排水を2期工事にて体育館側ヘルト変更するとの記載がありますが、M42-1図での配管撤去記載のみで、撤去以降の配管ルート変更図及び数量内訳書にも内訳がありません。	変更事項のとおり、設計図を削除及び修正します。(別紙のとおり修正)
2	設計図 M-8 M-9 M-42-1	増築部の屋外排水経路がM-9、M42-1図で相違があります。M-8図の排水柵一覧表はM-9図に準じてるように思われますが、数量内訳書はM42-1図に準じていると思われます。どちらが正しいのでしょうか。	変更事項のとおり、設計図を削除及び修正します。(別紙のとおり修正) 数量は、設計書P20に計上しています。
3	設計図 KM-14 KM-15 KM-16	既設地下オイルタンクに新たに取付けする点検マンホールは、新たに設置するφ700×4ヶ所以外に、既設で取付けられている中央部φ800の取替も含むのでしょうか。(内訳書ではこの部分の工事が1式で数量が把握できません)尚、中央部φ800部分は以前に一度改修されているようです。	点検マンホール中央部φ800の取替は含みません。変更事項のとおり、設計書及び設計図を修正します。(別紙のとおり修正)
4	設計図 KM-14 KM-15	既設地下オイルタンク本体の通気管についてですが、中央部φ800のマンホール改修の際に同時に配管も改修されており、現状既設の地中横走り管は未使用のようです。以前改修されている部分も、また新たに改修することでしょうか。	通気管は既存のままとします。既存地中横走り管は撤去とします。変更事項のとおり、設計書及び設計図を修正します。(別紙のとおり修正)
5	設計図 M-29 KM-15	KM-15図で技術棟系統の地中横走り油管を既設地下オイルタンク部より撤去するようになっていますが、M-29図でこの系統から体育館系統へ分岐している油配管があります。技術棟系統の油配管を撤去すると体育館系統が使用できなくなりますが、撤去後の体育館系統油配管の措置は、如何がするのでしょうか。	体育館系統の油管は既存のままとします。油管については特別教室棟(改修棟)の手前で切断プラグ止めとし、体育館までの管内洗浄を追加します。変更事項のとおり、設計書及び設計図を修正します。(別紙のとおり修正)
変更事項(当初の見積用設計図書を次のとおり変更します)			
		変更事項	変更事項(別紙)
変-1	屋外排水設備について修正		M-8、M-9を削除 M42-1を修正
変-2	給油配管図及びオイルタンク詳細図について修正		KM-14～KM-16を修正 設計書P40、P65～P66を修正
		回答年月日	平成29年4月18日

排水樹一覧表

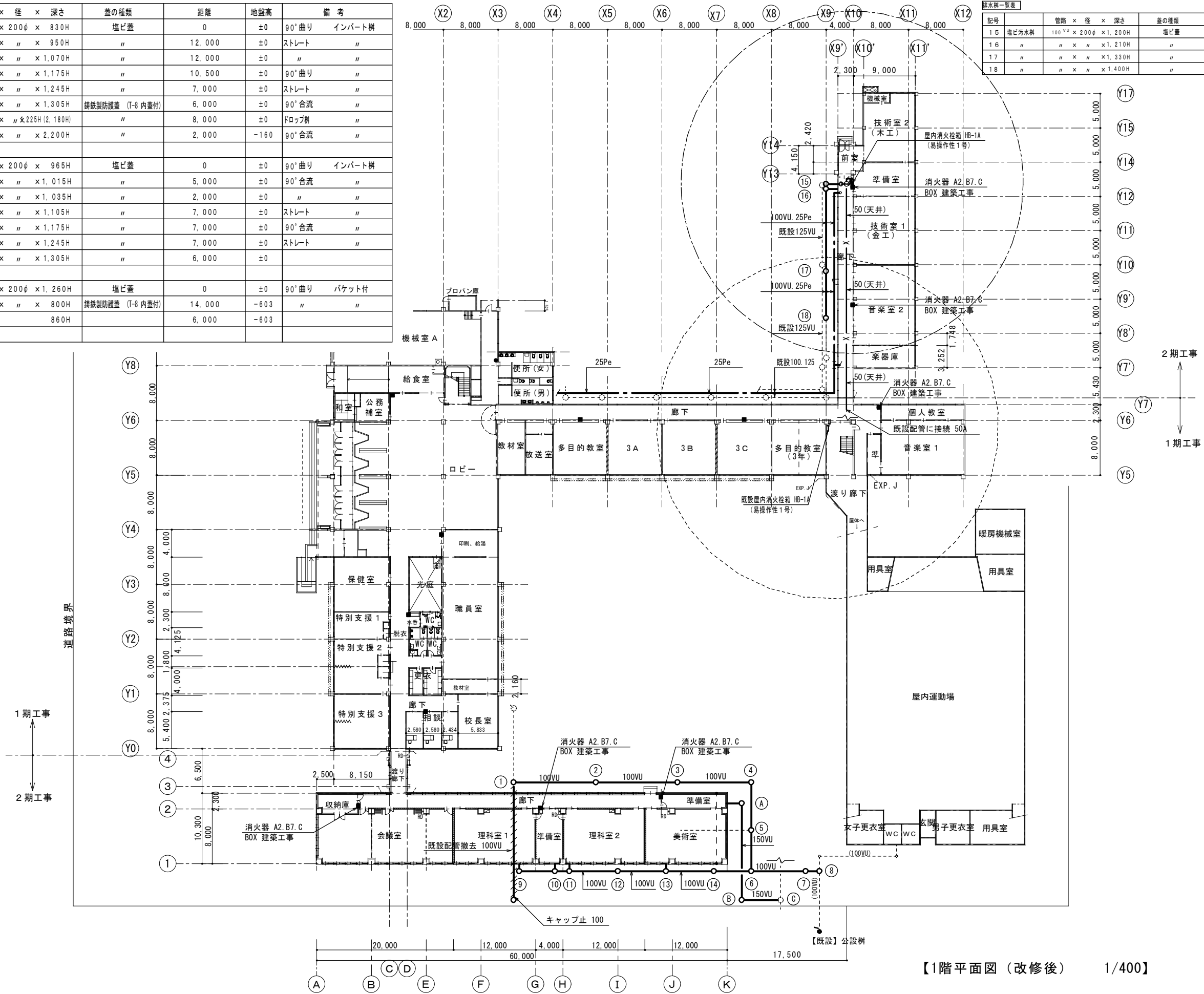
記号	管径 × 径 × 深さ	蓋の種類	距離	地盤高	備考
1	塩ビ汚水樹 100 ^{VU} × 200φ × 830H	塩ビ蓋	0	±0	90°曲り インバート樹
2	" " " " × 950H	"	12,000	±0	ストレート "
3	" " " " × 1,070H	"	12,000	±0	" "
4	" " " " × 1,175H	"	10,500	±0	90°曲り "
5	" " " " × 1,245H	"	7,000	±0	ストレート "
6	" " " " × 1,305H	錫鉄製防護蓋 (T-8 内蓋付)	6,000	±0	90°合流 "
7	" " " " × 2,180H	"	8,000	±0	ドロップ樹 "
8	" " " " × 2,200H	"	2,000	-160	90°合流 "
9	塩ビ汚水樹 100 ^{VU} × 200φ × 965H	塩ビ蓋	0	±0	90°曲り インバート樹
10	" " " " × 1,015H	"	5,000	±0	90°合流 "
11	" " " " × 1,035H	"	2,000	±0	" "
12	" " " " × 1,105H	"	7,000	±0	ストレート "
13	" " " " × 1,175H	"	7,000	±0	90°合流 "
14	" " " " × 1,245H	"	7,000	±0	ストレート "
6	" " " " × 1,305H	"	6,000	±0	" "
A	塩ビ雨水樹 150 ^{VU} × 200φ × 1,260H	塩ビ蓋	0	±0	90°曲り バケツ付
B	" " " " × 800H	錫鉄製防護蓋 (T-8 内蓋付)	14,000	-603	" "
C	雨水樹 別途工事	860H	6,000	-603	" "

※地盤高は参考値とする。

排水樹一覧表

記号	管径 × 径 × 深さ	蓋の種類	距離	地盤高	備考
1.5	塩ビ汚水樹 100 ^{VU} × 200φ × 1,200H	塩ビ蓋	0	±0	トラップ取付 インバート樹
1.6	" " " " × 1,210H	"	1,000	±0	90°合流 "
1.7	" " " " × 1,330H	"	12,000	±0	ストレート "
1.8	" " " " × 1,400H	"	7,000	±0	" "

※地盤高は参考値とする。

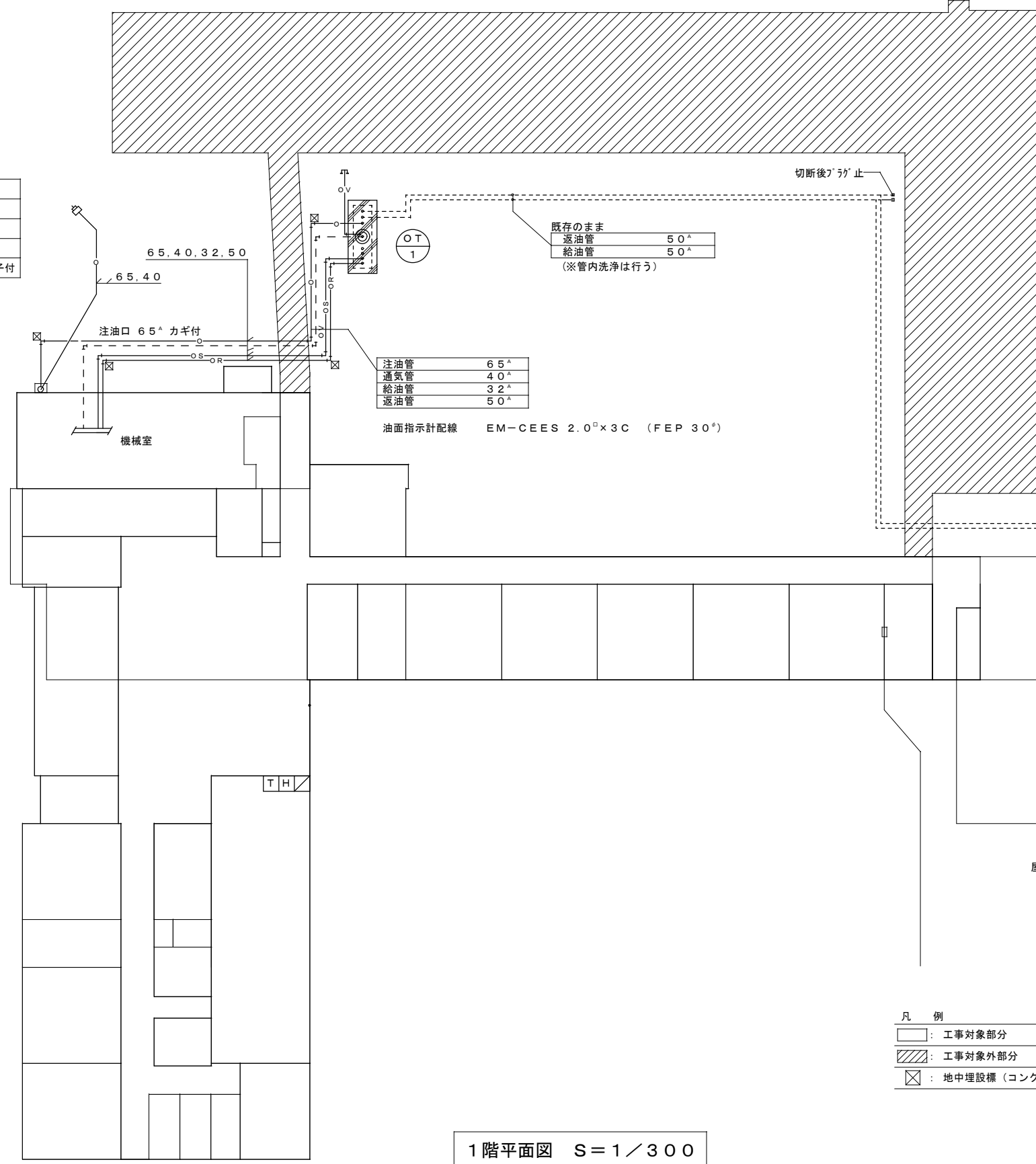


【1階平面図 (改修後) 1/400】

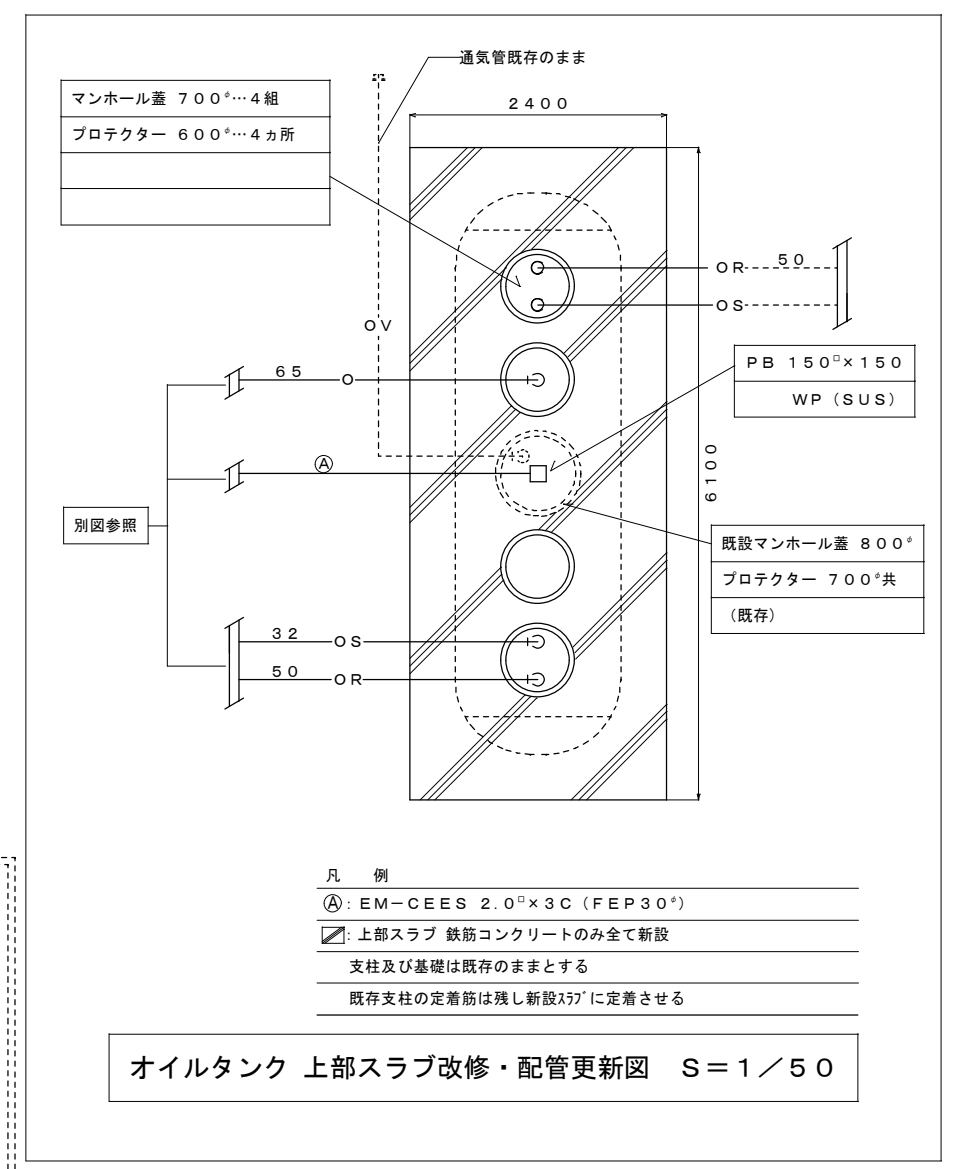
変—1

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0038 旭川市8条通17丁目1番1号 Tel: 0166-21-8886 Fax: 0166-21-8887	管理建築士 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	担当建築士 一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	縮尺 A-1 A-2 1/400 A-3	設計 担当 Sato Takahashi	製図 訂正 年月日 2014.11.28	工事名 上富良野中学校校舎耐震改修及び老朽改修工事 図面名 1階平面図 給排水 消火設備 (改修後)	図面番号 M-42-1
---	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	-------------------------	----------------------------	---	----------------

注油口 65° (カギ付)
 GL+1200^a 立上げの事
 注油口ボックス SUS製
 露出型 カギ付
 油面指示計 ローリーアース端子付



1階平面図 S=1/300

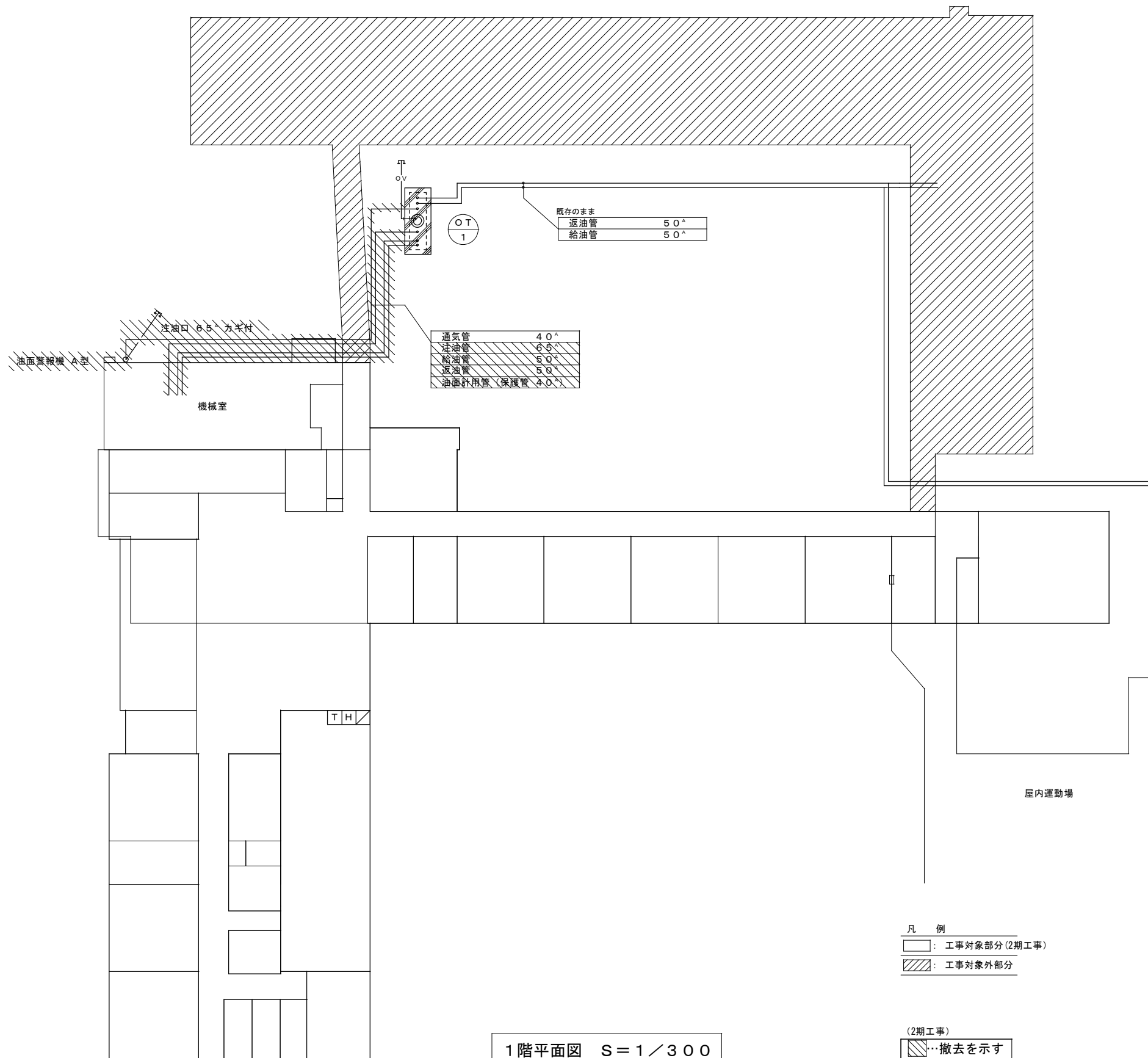


オイルタンク 上部スラブ改修・配管更新図 S=1/50

凡 例
 □: 工事対象部分
 ▨: 工事対象外部分
 ⊠: 地中埋設標 (コンクリ-屋内運動場)

〈特記事項〉
 地下埋設オイルタンク内部FPRコーティングのみ1期工事とする

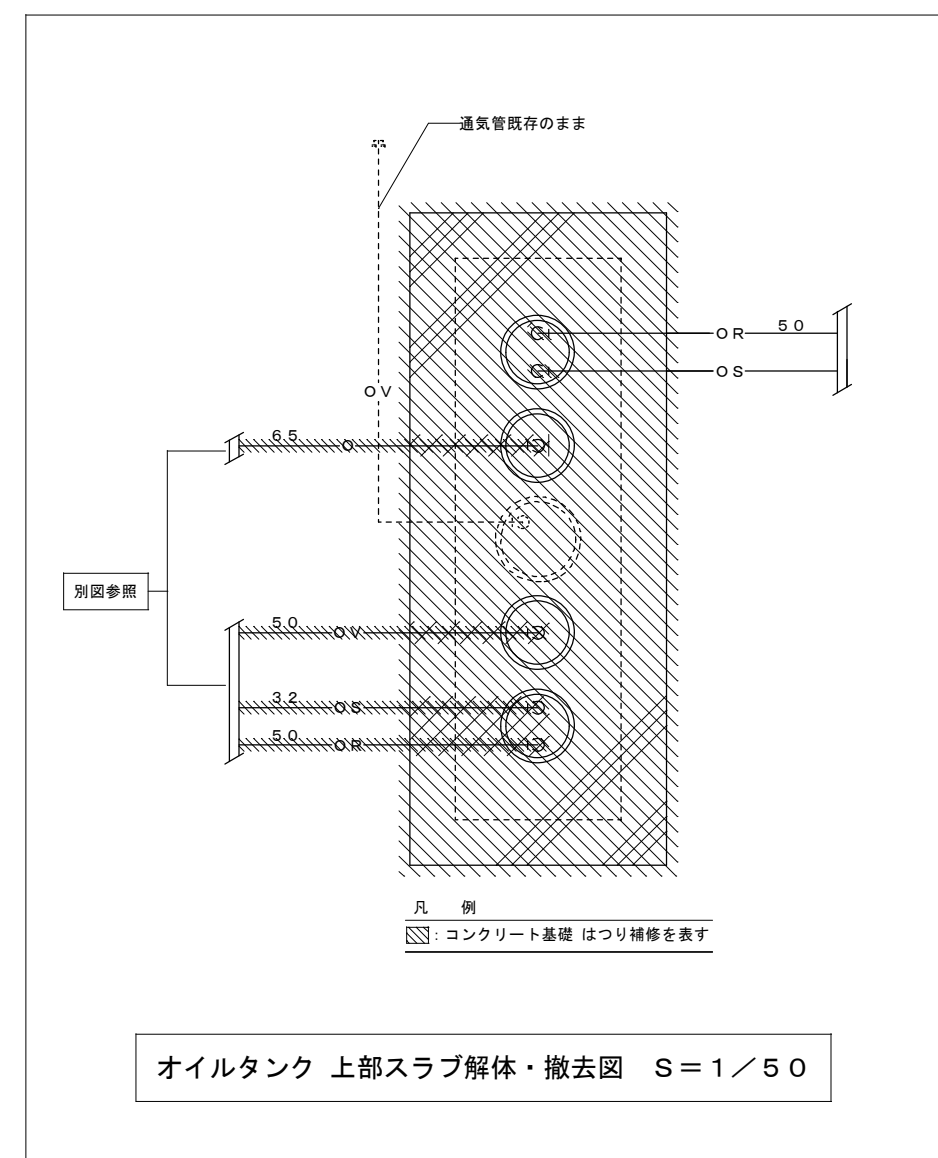
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第387号 株式会社 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co. Ltd	一級建築士登録第52061 西村 武	日付	管理技術者	担当	製図	備考	工事名称 上富良野中学校校舎耐震改修及び老朽改修工事	縮尺	図面名称	図面番号
		平成26年10月						A2:S=1/300	給油配管図(更新後)	枚の内 KM-14号



1階平面図 S=1/300

凡例
 □: 工事対象部分(2期工事)
 ▨: 工事対象外部分

(2期工事)
 ▨: 撤去を示す

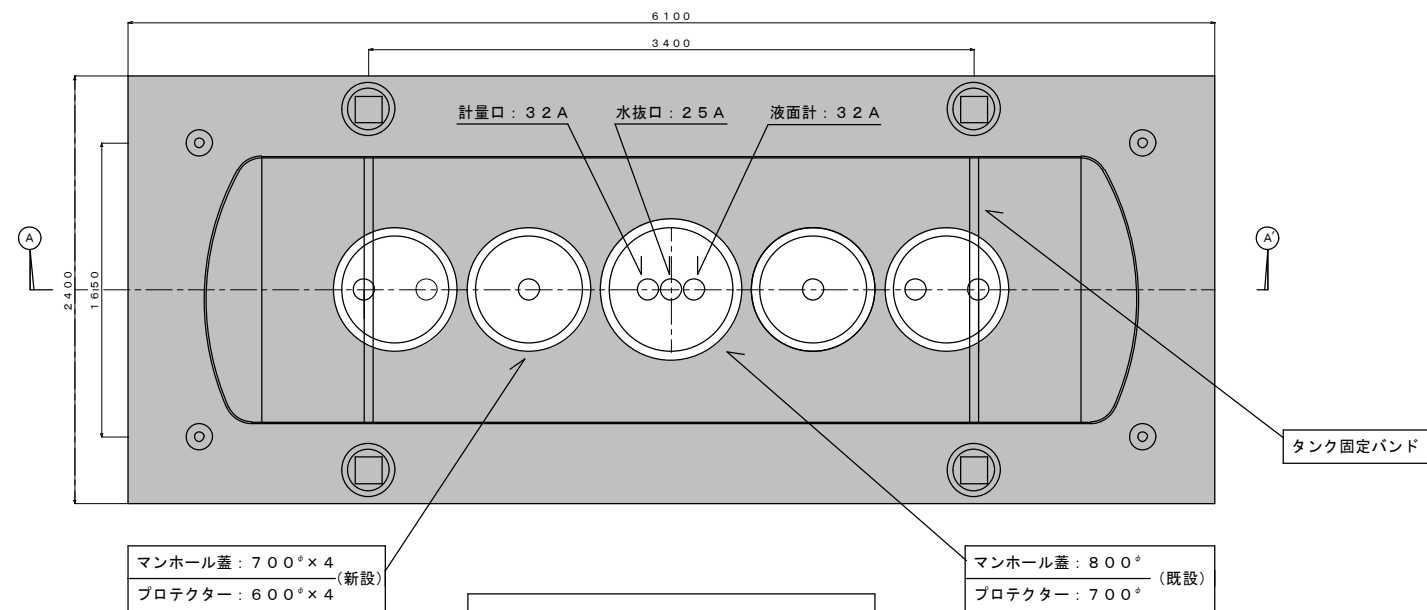


オイルタンク 上部スラブ解体・撤去図 S=1/50

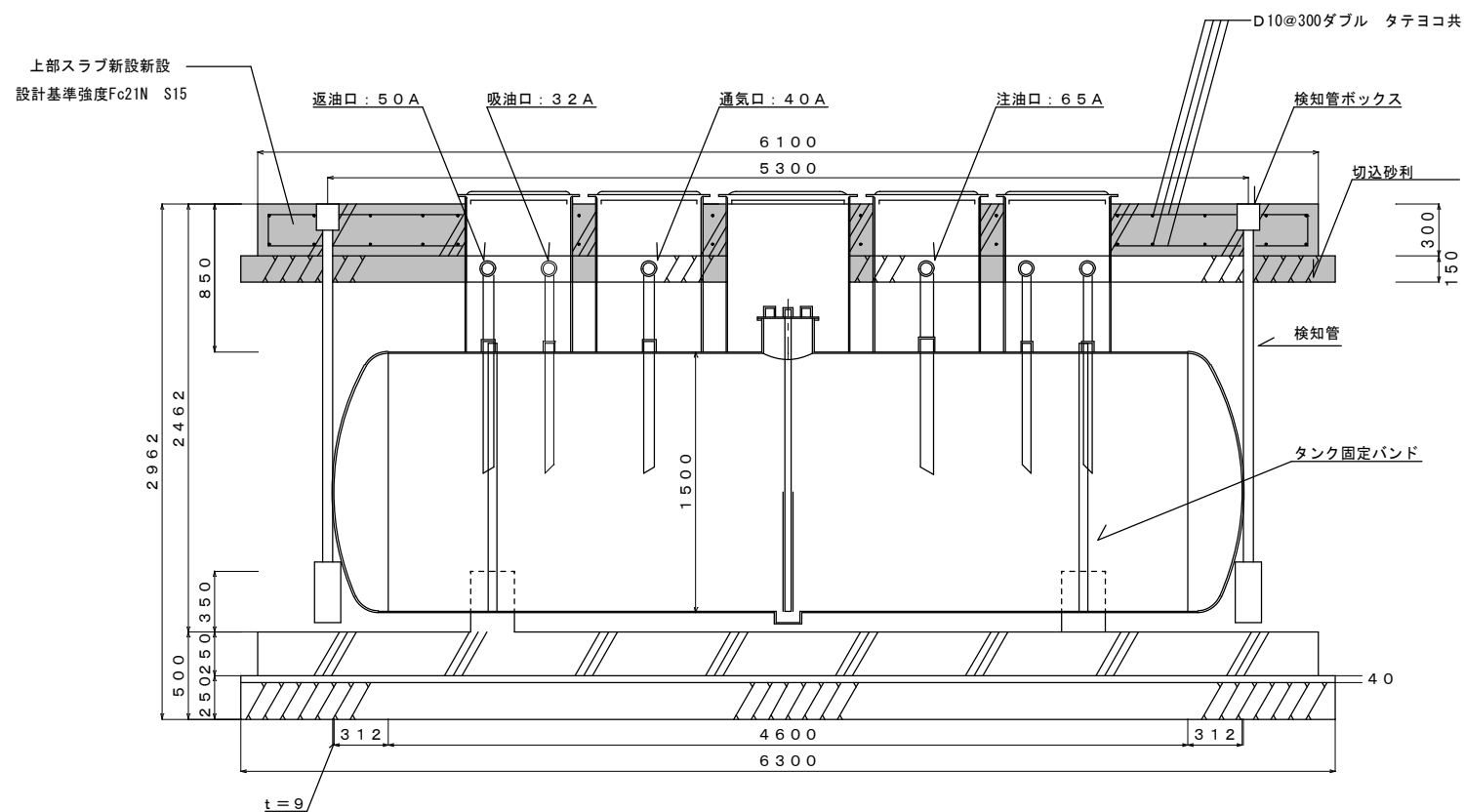
〈特記事項〉
 地下埋設オイルタンク内部FPRコーティングのみ1期工事とする

変—2

 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第387号 株式会社 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co. Ltd	一級建築士登録第52061 西村 武	日付	管理技術者	担当	製図	備考	工事名称 上富良野中学校校舎耐震改修及び老朽改修工事	縮尺	図面名称	図面番号
		平成26年10月							A2: S=1/300	給油配管図(既設撤去図)




オイルタンク平面図 1/30



A-A 断面図 1/30

〈特記事項〉
 本工事は地下埋設オイルタンク内部のFRPコーティングの改修及び油面指示計本体の取替えのみ。1期工事
 上記以外 2期工事

変—2

 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第387号 株式会社 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co. Ltd	一級建築士登録第52061 西村 武	日付	管理技術者	担当	製図	備考	工事名称 上富良野中学校特別教室棟改築及び老朽改修工事	縮尺	図面名称	図面番号
		平成26年10月							A2 : S=1/30	オイルタンク詳細図

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	暖房設備 c)オイルタンク廻り改修工事						
	注油口	65φ	1.0	個			
	通気金物	40φ	1.0	個	削除		
	注油口ボックス	SUS製露出型 ローリーアース付	1.0	個			
	外面被覆鋼管	32φ (地中)	34.5	m			
	外面被覆鋼管	40φ (地中)	38.0	m	削除		
	外面被覆鋼管	50φ (地中)	33.5	m			
	外面被覆鋼管	65φ (地中)	42.0	m			
	油・配管用炭素鋼々管(黒)	40φ (屋外架空)	4.0	m	削除		
	油・配管用炭素鋼々管(黒)	65φ (屋外架空)	1.2	m			
	電線	EM-CEE 2.0□×3C 管内	40.0	m			
	電線管	FEP30φ 土中	37.0	m			
	地中埋設標	コンクリート製	4.0	個			
	埋設標識テープ	150幅	85.5 111.0	m	修正		
	土工事	根切(機械) バックホウ 0.28m3	21.4 27.8	m3	修正		
	土工事	埋戻(機械) バックホウ 0.28m3	21.4 27.8	m3	修正		
	オイルタンクマンホール蓋、プロテクター新設	タンク、油配管内残油抜き取、清掃 マンホール取替、蓋、プロテクター	1.0	式			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	オイルタンク廻り						
	鋼管撤去	再使用しない 油管 32φ (一般)	34.5	m			
	鋼管撤去	再使用しない 油管 40φ (一般)	38.0	m	削除		
	鋼管撤去	再使用しない 油管 50φ (一般)	33.5	m	修正		
			42.6				
	鋼管撤去	再使用しない 油管 65φ (一般)	42.0	m			
	油配管洗浄費	32φ	34.5	m			
	油配管洗浄費	40φ	38.0	m	削除		
			33.5				
	油配管洗浄費	50φ	42.6	m	修正		
	油配管洗浄費	65φ	42.0	m			
	埋設標識テープ	150幅	231.0	m	修正		
			92.0				
	土工事	根切(機械)バックホウ 0.13m3	23.0	m3	削除		
	土工事	埋戻(機械)バックホウ 0.13m3	23.0	m3	削除		
	コンクリート撤去	人力 無筋	4.4	m3			
	配管切断プラグ止(鋼管類)	50A	2	か所	追加		
	計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	産業廃棄物処理						
	産業廃棄物処理	金属くず類	4.7	t			
	産業廃棄物処理	保温材類	0.4	t			
	産業廃棄物処理	塩ビ管類	0.1	t			
	産業廃棄物処理	コンクリート類	1.7	t			
	産業廃棄物処理	オイルタンク廻り スチール(有価物)	0.6 4.2	t	修正		
	産業廃棄物処理	オイルタンク廻り コンクリート	10.0	t			
	産業廃棄物処理運搬費	金属くず類 DID有り 24.0km以下	111	m3			
	産業廃棄物処理運搬費	保温材類 DID有り 24.0km以下	80.0	m3			
	産業廃棄物処理運搬費	塩ビ管類 DID有り 24.0km以下	0.2	m3			
	産業廃棄物処理運搬費	無筋コンクリート類 DID有り 24.0km以下	0.7	m3			
	積込、集積	機器、配管類	191	m3			
	積込、集積	機器、配管類	0.7	m3			
	積込、集積	コンクリート類	0.7	m3			
	積込、集積	コンクリート類	4.4	m3			
	北海道循環資源利用促進税		6.9	t			
	計						